**おおさかＱネット「花きの消費行動」に関するアンケート　分析結果概要**

* **実施日**　　平成29年2月15日（水)
* **サンプル数**　　1,000名（国勢調査結果（平成22年）に基づく性・年代・居住地（4地域）の

　　　　　　割合で割り付けた15歳以上の大阪府民）



**大阪市域：大阪市**

**北部大阪地域：豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町**

**東部大阪地域：守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市**

**南部大阪地域：堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村**

* **調査概要**

**１．調査目的**

我が国の花き産業は、安価な切り花の輸入増加や国内での花きの消費低迷から国際競争力の強化や生産担い手の確保が課題となっている。このような中、大阪府では、「花きの振興に関する法律」に基づく花き産業及び花き文化の振興に関する計画の策定を予定。

今後の大阪府における花き産業や花き文化の振興に向けた施策立案の検討資料とするため、府民の花きに対する意識や消費行動等を調査する。

**２．主な調査（検証）項目**

仮説１　花きの文化振興が必要だと考えている、又は「花の効能」を認識している人ほど、花きの消費（飾る・贈る・育てる）も多い

仮説２　花きの観賞（観光）や花きを学ぶ経験の多い人ほど、花きの消費（飾る・贈る・育てる）も多い

仮説３　花きの消費行動の頻度は、同居家族の有無や住まいの形態によって差がある

* **分析結果等の概要**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※

**３．主な調査（検証）結果**

(1) 花きの文化振興の必要性意識の有無、花の効能の認識の有無と花きの消費行動の関係

* 花きの文化振興が必要だと考えている、又は「花の効能」を認識している人ほど、花きの消費（飾る・贈る・育てる）も多い。

(２)花きの鑑賞(観光)の頻度、花きを学ぶ頻度と花きの消費行動の関係

* 花きの観賞（観光）や花きを学ぶ経験の多い人ほど、花きの消費（飾る・贈る・育てる）も多い。

(３)同居家族の有無、住まいの形態と花きの消費行動の関係

* 同居家族(配偶者・親・兄弟・子供等、住居・生計を共にする方)がいる人は、一人暮らしの人に比べて、３つの消費行動(飾る・贈る・育てる)のうち、「飾る」と「育てる」行動において多い結果であった。また、「贈る」行動については、統計的に有意な差は見られなかった。
* 一軒家に住んでいる人は、マンション・集合住宅で住んでいる人に比べて、３つの消費行動(飾る・贈る・育てる)のうち、「飾る」と「育てる」行動において多い結果であった。また、「贈る」行動については、統計的に有意な差は見られなかった。
* ベランダ・庭が有る住まいの人は、そうでない人に比べて、３つの消費行動(飾る・贈る・育てる)のうち、「飾る」と「育てる」行動において多い結果であった。また、「贈る」行動については、統計的に有意な差は見られなかった。

（注）

１．「おおさかＱネット」の回答者は、民間調査会社のインターネットユーザーであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのように「府民全体の縮図」ではない。そのため、アンケート調査の「単純集計（参考）」は、無作為抽出による世論調査のように「調査時点での府民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまる。

２．割合を百分率で表示する場合は、小数点第２位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。

３．図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

４．図表下にカイ２乗検定の値（ｐ値）を記載しているものは、信頼度5%水準で統計上の有意差がみられたもの。

５．複数回答のクロス集計については、カイ２乗検定を行っていない。

**１．花きの文化振興の必要性意識の有無、花の効能の認識の有無と花きの消費行動の関係について**

仮説１「花きの文化振興が必要だと考えている又は「花の効用」を認識している人ほど、花きの消費（飾る・贈る・育てる）も多い」の検証

【花きの文化振興の必要性】

* ここでは、花きの文化振興の必要性の有無と日頃の花きの消費行動(飾る・贈る・育てる)の頻度をクロス集計した。その結果、花きの文化振興を必要だと思う人は、そうでない人に比べて、３つの消費行動(飾る・贈る・育てる)すべての頻度が多い傾向が見られた。(図表1-1)

【花の効能の認識の有無】

* ここでは、花の効能の認識の有無と日頃の花きの消費行動の頻度をクロス集計した。その結果花の効能についての認識がある人は、そうでない人に比べて、３つの消費行動(飾る・贈る・育てる)すべての頻度が多い傾向が見られた。(図表1-2)

以上から、花きの文化振興の必要性や花の効能についての情報を発信することで、府民の花きに対する意識が高まり、消費行動を促すと推測される。

 (注)検証に際して、Ｑ１で「どちらともいえない(n＝173)」は、集計から省いた。

(カテゴリ分け)

Ｑ１【非常に必要だと思う×ある程度必要だと思う】と【あまり必要だと思わない×全く必要だと思わない】

Ｑ３【よく知っている×ある程度知っている】と【あまり知らない×全く知らない】

Ｑ５【常時飾っている×ときどき飾っている】と【めったに飾っていない×全く飾らない】

Ｑ６【月に１回以上贈る×２～３ヵ月に１回程度贈る×１年に１回程度贈る】と【数年に一回程度もしくはそれ以下×以前は贈ったことがあるが、今はない×贈ったことはない】

Ｑ７【育てている×ときどき育てている】と【めったに育てていない×育てていない】

○花きの文化振興の必要性について【図表1-1】

質問文Ｑ１：花きの文化振興は必要だと思いますか。

Ｑ５：ご自身で自宅に花きを飾りますか。(仏花・供花以外)

　　　Ｑ６：花きを誰かにプレゼントとして贈りますか。

　　　Ｑ７：この一年で、花きを育てた(例：ガーデニング、鑑賞用としてなど)経験はありますか。(学校等での授業の一環以外)



【Ｑ５　飾る】



【Ｑ６　贈る】



【Ｑ７　育てる】



○花の効能の認識の有無について【図表1-2】

質問文Ｑ３：花の癒し効果(ストレス・抗うつ・いかりの、活気が得られる効果)のあることが学術的に証明されています。これらの花の効能を知っていますか。

Ｑ５：ご自身で自宅に花きを飾りますか。(仏花・供花以外)

　　　Ｑ６：花きを誰かにプレゼントとして贈りますか。

　　　Ｑ７：この一年で、花きを育てた(例：ガーデニング、鑑賞用としてなど)経験はありますか。(学校等での授業の一環以外)



【Ｑ５　飾る】



【Ｑ６　贈る】



【Ｑ７　育てる】



**２．花きの鑑賞(観光)の頻度、花きを学ぶ頻度と花きの消費行動の関係について**

仮説２「花きの鑑賞(観光)や花きを学ぶ経験の多い人ほど、花きの消費（飾る・贈る・育てる）も多い」の検証

【花きの鑑賞(観光)】

* ここでは、花きの鑑賞(観光)の頻度と日頃の花きの消費行動の頻度をクロス集計した。その結果、花きの鑑賞(観光)の頻度が多い人は、そうでない人に比べて、３つの消費行動(飾る・贈る・育てる)すべての頻度が多い傾向であった。(図表2-1)

【花きの学習頻度】

* ここでは、花きの学習の頻度と日頃の花きの消費行動の頻度をクロス集計した。その結果、花きを学ぶ(楽しみ方・飾り方・育て方など)頻度が多い人は、そうでない人に比べて、３つの消費行動(飾る・贈る・育てる)すべての頻度が多い傾向であった。(図表2-2)

以上から、府内の植物園や花きの鑑賞スポットを整備したり、園芸教室や生け花体験などの花きを学ぶ機会を提供することで、府民の花きの消費行動を促すと推測される。

(注)検証に際して、Ｑ９で「わからない・覚えていない(n＝165)」は、集計から省いた。

(カテゴリ分け)

Ｑ５【常時飾っている×ときどき飾っている】と【めったに飾っていない×全く飾らない】

Ｑ６【月に１回以上贈る×２～３ヵ月に１回程度贈る×１年に１回程度贈る】と【数年に一回程度もしくはそれ以下×以前は贈ったことがあるが、今はない×贈ったことはない】

Ｑ７【育てている×ときどき育てている】と【めったに育てていない×育てていない】

Ｑ８【月に１回以上ある×２～３ヵ月に一回程度ある×年に１回程度ある】と【数年に一回程度もしくはそれ以下×以前はあったが、今はない×ない】

○花きの鑑賞(観光)頻度について【図表2-1】

質問文Ｑ８：植物園や花の鑑賞スポットなどで、花きを鑑賞することはありますか。

Ｑ５：ご自身で自宅に花きを飾りますか。(仏花・供花以外)

　　　Ｑ６：花きを誰かにプレゼントとして贈りますか。

　　　Ｑ７：この一年で、花きを育てた(例：ガーデニング、鑑賞用としてなど)経験はありますか。(学校等での授業の一環以外)



【Ｑ５　飾る】



【Ｑ６　贈る】



【Ｑ７　育てる】



○花きの学習経験について【図表2-2】

質問文Ｑ９：花きの楽しみ方(飾り方など)や育て方を学んだ経験はありますか。(学校等での授業の一環以外の、自発的な経験)

Ｑ５：ご自身で自宅に花きを飾りますか。(仏花・供花以外)

　　　Ｑ６：花きを誰かにプレゼントとして贈りますか。

　　　Ｑ７：この一年で、花きを育てた(例：ガーデニング、鑑賞用としてなど)経験はありますか。(学校等での授業の一環以外)



【Ｑ５　飾る】



【Ｑ６　贈る】



【Ｑ７　育てる】



**３．同居家族の有無、住まいの違いと花きの消費行動の関係について**

仮説３「花きの消費行動の頻度は、家族構成や住まいの形態によって差がある」の検証

【同居家族の有無】

* ここでは、同居家族の有無と日頃の花きの消費行動の頻度をクロス集計した。その結果、同居家族(配偶者・親・兄弟・子供等、住居・生計を共にする方)がいる人は、一人暮らしの人に比べて、３つの消費行動(飾る・贈る・育てる)のうち、「飾る」と「育てる」行動において頻度が多い傾向があった。また、「贈る」行動については、統計的に有意な差は見られなかった。(図表3-1)

【住まいの状況(マンション・集合住宅と一軒家)】

* ここでは、住まいの状況(マンション・集合住宅と一軒家)と日頃の花きの消費行動の頻度をクロス集計した。その結果、一軒家に住んでいる人は、マンション・集合住宅で住んでいる人に比べて、３つの消費行動(飾る・贈る・育てる)のうち、「飾る」と「育てる」行動において頻度が多い傾向があった。また、「贈る」行動については、統計的に有意な差は見られなかった。(図表3-2)

【住まいの状況(ベランダ・庭の有無)】

* ここでは、住まいの状況(ベランダ・庭の有無)と日頃の花きの消費行動の頻度をクロス集計した。その結果、ベランダ・庭が有る住まいの人は、そうでない人に比べて、３つの消費行動(飾る・贈る・育てる)のうち、「飾る」と「育てる」行動において頻度が多い傾向があった。また、「贈る」行動については、統計的に有意な差は見られなかった。(図表3-3)

以上から、一人暮らしの方や、マンション・集合住宅に在住の方、住まいにベランダ・庭が無い方は日頃の花きの消費行動(飾る・育てる)が少ないことが分かった。今後は、一人暮らしの方をターゲットとした商品開発やベランダ・庭が無くても栽培可能なキットの増加により、府民の花きの消費行動が促されると推測される。

(カテゴリ分け)

Ｑ５【常時飾っている×ときどき飾っている】と【めったに飾っていない×全く飾らない】

Ｑ６【月に１回以上贈る×２～３ヵ月に１回程度贈る×１年に１回程度贈る】と【数年に一回程度もしくはそれ以下×以前は贈ったことがあるが、今はない×贈ったことはない】

Ｑ７【育てている×ときどき育てている】と【めったに育てていない×育てていない】

Ｑ２０【マンション・集合住宅（ベランダ有）×マンション・集合住宅（ベランダ無）】と【一軒家（庭有）×一軒家（庭無）】

　　　【マンション・集合住宅（ベランダ有）×一軒家（庭有）】と【マンション・集合住宅（ベランダ無）×一軒家（庭無）】

○同居家族の有無について【図表3-1】

質問文Ｑ５：ご自身で自宅に花きを飾りますか。(仏花・供花以外)

　　　Ｑ６：花きを誰かにプレゼントとして贈りますか。

　　　Ｑ７：この一年で、花きを育てた(例：ガーデニング、鑑賞用としてなど)経験はありますか。(学校等での授業の一環以外)

　　　Ｑ１８：住居・生計を共にする方(同居家族)の状況として、該当するものをお選びください。



【Ｑ５　飾る】



【Ｑ６　贈る】



【Ｑ７　育てる】



○住まいについて(マンションと一軒家)【図表3-2】

質問文Ｑ５：ご自身で自宅に花きを飾りますか。(仏花・供花以外)

　　　Ｑ６：花きを誰かにプレゼントとして贈りますか。

　　　Ｑ７：この一年で、花きを育てた(例：ガーデニング、鑑賞用としてなど)経験はありますか。(学校等での授業の一環以外)

　　　Ｑ２０：住まいの状況として、該当するものをお選びください。



【Ｑ５　飾る】



【Ｑ６　贈る】



【Ｑ７　育てる】



○住まいについて(ベランダ・庭の有無)【図表3-3】

質問文Ｑ５：ご自身で自宅に花きを飾りますか。(仏花・供花以外)

　　　Ｑ６：花きを誰かにプレゼントとして贈りますか。

　　　Ｑ７：この一年で、花きを育てた(例：ガーデニング、鑑賞用としてなど)経験はありますか。(学校等での授業の一環以外)

　　　Ｑ２０：住まいの状況として、該当するものをお選びください。



【Ｑ５　飾る】



【Ｑ６　贈る】



【Ｑ７　育てる】

